



子どもの心の支援にかかわる 高度人材育成プログラム 受講生募集

子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラムとは

長崎県内外の発達障害等への医療・特別支援教育 双方の視点を踏まえた高度の支援スキルを持つ人材育成を目的とした1年間の履修証明プログラムです。

WEBを利用して自宅で自分の好きな時間に講義を受講する（Eラーニングによる受講）ことができます。全80コマおよそ120時間です。

※ご受講にはパソコン及びインターネット環境が必要です。

（タブレット端末やスマートフォンでの視聴は、受講環境が整わない場合があります）

●プログラム内容

発達障害や精神障害のタイプ、それぞれの特性に関すること、そのような問題がある子どものアセスメント、それぞれの問題に対する支援方法、関係機関の機能や連携方法について、当センター教員及び、各領域で活躍している講師によるオンライン上で受講できるEラーニング講義のプログラムです。受講を通して、子どもの心の問題を早期に的確に把握し対応する能力、関係機関や保護者と連携する能力を身に付けていただきます。教師、保育士、療育関係者など、現在就業中で、勤務時間が異なる受講者、離島など遠隔地に勤務し来学が困難な受講者などが受講可能なように、時間や場所にとらわれない、Eラーニングによる自己学習プログラムになります。全てのプログラムを修了すると、長崎大学から認定証が授与されます。

●申し込み資格

- ・高校卒業以上
- ・発達障害のある子どもに関わっている方(教師、保育士、療育関係者、保護者等)
- ・ご自宅にパソコン及びインターネット環境がある方

●受講料

5万円/年（令和2年4月納入）

●修了（履修証明）の要件

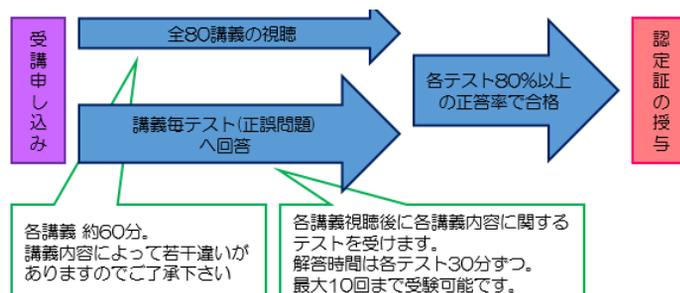
講義120時間を受講し、全科目試験に合格した場合。

●定員：200名/年

●申込方法

1. 募集開始 2019（令和元）年12月2日(月)正午～（定員に達し次第締め切ります）
2. 申し込みフォームを 2019（令和元）年12月2日（月）正午に当センターWEBサイト
（<http://www.cme.nagasaki-u.ac.jp/index.html>）へ掲載予定。
3. 受講可否通知 2020（令和2）年3月頃予定（本人へ郵送又はメールにてお知らせします）

●認定証（履修証明）授与までの流れ



※講義動画の視聴は受講開始翌年の1月31日まで可能です。受講状況確認等の関係上、3月末までではありませんので、ご注意ください。

●講義及び講師一覧（※2019年10月現在）

1:発達障害と併存症に関する知識を修得する科目17コマ

1	知的発達症、限局性学習症	吉田ゆり
2	コミュニケーション症	岡久美子
3	注意欠如・多動症	岩永竜一郎
4	自閉スペクトラム症1	岩永竜一郎
5	自閉スペクトラム症2	岩永竜一郎
6	発達性協調運動症	岩永竜一郎
7	双極性障害・うつ病	今村明
8	統合失調症とその前駆状態について	今村明
9	当事者からはなし	山田隆一
10	大人の自閉スペクトラム症	今村明
11	大人のADHD	今村明
12	子どもの神経症性障害	今村明
13	選択性緘黙	金原洋治
14	少年犯罪について	今村明
15	子どものトラウマとその対応	今村明
16	てんかん	本田涼子
17	子どもの高次脳機能障害	若松みちえ

2:発達障害等のアセスメントを修得する科目10コマ

18	発達障害児へのアセスメント概論・スクリーニング	吉田ゆり
19	知能検査の結果に基づく支援 (Binet系、Wechsler系)	吉田ゆり
20	認知発達検査の結果に基づく支援 (K-ABC、K式)	吉田ゆり
21	発達検査 (KIDS、遠城寺、JMAP など)	徳永瑛子
22	言語の評価	岡久美子
23	協調運動・感覚処理の評価	岩永竜一郎
24	行動の評価 (適応行動、ADHD評価含む)	岩永竜一郎
25	ASDの評価	岩永竜一郎
26	LDの評価	増本利信
27	個別の教育指導計画・教育支援計画	増本利信

3:発達障害児や心の問題を持つ子どもの支援方法を修得する科目 26コマ

28	医療による対応：診断、薬物治療	今村明
29	応用行動分析	高橋甲介
30	早期の自閉症児への介入	服巻智子
31	認知行動療法	田山淳
32	発達障害児の言語発達支援	岡久美子
33	自閉症児の学習スタイルと環境づくり (TEACCHアプローチに学ぶ)	服巻智子
34	ASD児のコミュニケーション支援	服巻智子
35	感情マネジメント	服巻智子
36	感覚・協調運動の問題への対応	岩永竜一郎
37	日常生活支援 (食事、排泄、睡眠など)	萩野明日香 仙石泰仁
38	不登校への対応	河田将一
39	虐待を含む養育不全への対応～ ASDにおける社会性不全と養育不全への対応～	服巻智子
40	発達障害児への性教育1	宮原春美
41	発達障害児への性教育2	宮原春美
42	読み書きの支援1 (ひらがな編)	村井敏宏
43	読み書きの支援2 (漢字編)	村井敏宏
44	見ることの支援1	増本利信
45	見ることの支援2	増本利信
46	算数の支援	山田充
47	発達障害児のための道具の工夫	鴨下賢一
48	ITを活用した支援	高橋和義
49	子どもの自殺を防ぐために	中根允文
50	子どもによる犯罪を防ぐために	中根允文
51	ソーシャルスキルトレーニング	田中悟郎
52	ソーシャルストーリー	服巻智子
53	ASDに対する応用行動分析と実践	服巻智子

4:特別支援教育・保育の方法を修得する科目11コマ

54	特別支援教育の概要と新しい指導要領について	岡野由美子
55	通常学級における特別支援教育	岡野由美子
56	巡回相談	岩永竜一郎
57	通級指導教室における支援	増本利信
58	特別支援学級での支援	木村栄
59	特別支援学校での支援	菅原憲
60	スクールカウンセラーによる支援	伊藤勢津子
61	スクールソーシャルワーカーの役割と支援	宮野伸枝
62	保育所(園)での支援	吉田ゆり
63	保育所等訪問支援の取り組み	井村弘子
64	大学における発達障害学生の支援	Peter Bernick

5:関係機関や保護者との連携方法を修得する科目16コマ

65	NPOによる支援	東川由貴
66	発達障害者支援センター	宮崎彩
67	医療機関としての取り組み	松坂哲應
68	児童相談所による支援	柿田多佳子
69	不登校・引きこもりの現状と支援者・社会が再びつながるために	宮本鷹明
70	健診における取りくみ・保健センターの関わり	岩永竜一郎
71	教育委員会の取り組み	近藤亮二
72	障害児通所支援事業所における発達障害児支援	宮野伸枝
73	児童心理治療施設の機能と役割、そこでの発達障害児等への支援	宮田雄吾
74	保護者の心理・受容までのプロセス、保護者とのかかわり	吉田ゆり
75	親の会活動1	内藤貴子
76	親の会活動2、ペアレントメンターによる支援	奥野由美 柿本文香
77	ペアレントトレーニングの概要	徳永瑛子
78	就労支援の実際	伊藤道春
79	福祉サービス事業について	古庄正輝
80	相談支援事業	藤井修

【本プログラムに関するお問い合わせ】

長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

✉メール kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp

🌐ホームページ <http://www.cme.nagasaki-u.ac.jp/index.html>